

報道関係各位

2014年6月13日
株式会社カンター・ジャパン

21 カ国でワールドカップへの興奮度合いを比較。

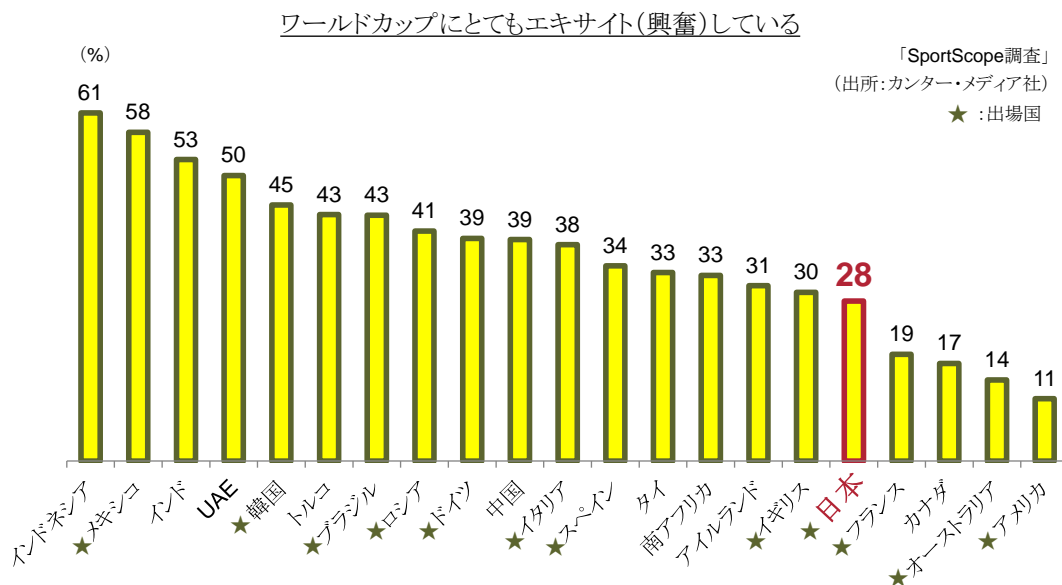
1 番興奮している国は「インドネシア」。

「日本」は 21 カ国中「17 番目」

～スポーツに対する意識調査より～

市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大竹秀彦)は、世界各国で消費者の価値観や態度に関する調査を行っています。

現在最も注目されているスポーツの祭典の一つ「2014 FIFA ワールドカップブラジル大会」に関して、今年の2月に21カ国の消費者に大会に関する興奮度合いを聞きました。その結果、「とてもエキサイト(興奮)している」と回答した人の割合が最も高かったのがインドネシアで61%でした。日本の値は28%で、21カ国中17番目という結果になりました。



今回のワールドカップの出場国のみに着目すると、最も割合が高かったのはメキシコの58%、最も割合が低かったのはアメリカの11%でした。開催国のブラジルは43%という結果でした。

News Release

■ 調査概要

この調査は、グループ会社のカンター・メディア社が実施しているスポーツに関する意識調査 (『**SportScope**(スポーツスコープ)』)の一部です。

『**SportScope**(スポーツスコープ)』調査は、年に数回実施しているインターネット調査で、毎回18歳以上の男女約1,000名/国を対象に様々なスポーツに対する意識や態度、スポーツへの消費や参加状況などを聞いています。

- 調査名称:『**SportScope**(スポーツスコープ)』
- 調査時期:2014年2月
- 調査方法:インターネット調査
- 調査対象:18歳以上の男女
- 対象者数:1,000名/国
- 調査国:21カ国。日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、オーストラリア、UAE(アラブ首長国連邦)、トルコ、南アフリカ、ロシア、ドイツ、イタリア、スペイン、アイルランド、イギリス、フランス、カナダ、アメリカ、メキシコ、ブラジル

本文を引用される場合は、出典が「カンター・ジャパン」又は「カンター・メディア」であることを明記してください。

■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で50年超の歴史を持つ市場調査会社です。12の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。親会社は、世界有数の広告会社であるイギリスのWPP(ダブリュー・ピー・ピー)です。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 代表取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail:Marketing@kantar.co.jp Tel:03-6859-3229